



## 木工芸の里で、 職人の道を 地道に…

2023年  
移住

インタビュー

野野 穰<sup>みのり</sup>さん(宮崎県出身)

お仕事

桶職人見習い  
(丸勝桶製作所)



移住の経緯を教えてください

故郷の宮崎県でマツサージ師として働いていましたが、「コロナ禍で仕事が減ったこともあり、子どもの頃から憧れていた木工職人への転身を決めました。まず全寮制の長野県上松技術専門校に入校する形で木曾に移住し、1年制ですが自身の濃い授業を受け木工の基礎技術を身につけました。卒業後、交流している地域おこし協力隊の方から「南木曾町に面白い桶職人さんがいるよ」と紹介されたのが、今見習いとして働いている「丸勝桶製作所」の青木さんです。

憧れの職人への第一歩ですね？

週の半分はここで親方(青木さん)から発注していたく桶仕事を、あとの半分は木工の工場でアルバイトをしています。桶作りは実際やってみると見た目以上に難しいことばかりで、うまくできず悔しくてベンカくことさえあります。親方の作る桶はほんとにきれいなマル(円形)を描くんですがそのマルが難しい。親方は代を継いできた貴重な道具も使わせてくれて、本当にありがたいです。

地域の人との交流はありますか？

町の「空き家バンク」担当の人が住民の方に繋いでくれて住居は決まりました。近所の方がいい人でお野菜くれたり本当に面倒見よく世話をしてもらっているの、何かお返しをと前職のあんまマツサージを時々させてもらっています。

移住を考える人へのアドバイスは？

私は桶を作る手先以外は不器用で、周りの人に助けってもらったりすることが多いので、自分から地域に入っていくというのを学びました。地元の人たちの生活の一部に入れさせてもらっている感じですね。

移住した満足感がありますか？

木曾に来て本当によかったと思っています。現地に住んで現地で仕事をするので、「学び」がしっかりと身に入ってくる感じがして、今すごく楽しいです。自然に桶づくりが自分のものになっていく実感があります。変な桶作って親方や先人の桶職人さん達に迷惑かけないよう、いいものを作って立ちまわるのが目標です。